

資源評価調査委託事業（海洋環境）

太平洋定線観測（要約）

清藤真樹・永峰文洋

目 的

青森県太平洋海域における海況情報を収集し、漁業者等に提供する。

材料と方法

青森県の太平洋定線において3月、6月、9月、12月の各月1回、seabird社製CTD・911plusによる表層から最深1000mまでの水温と塩分の測定、採水による塩分、クロロフィルの測定、プランクトン、卵稚仔の採取を実施し、津軽暖流の各流勢指標を平年（1963～2012年平均値）と比較した。また、収集・分析した情報は、ウオダス漁海況速報や水産総合研究所のホームページ等で公表した。

結 果

定線観測結果を下表に示す。

3月は、平年と比べ津軽暖流の各層水温は0m層、50m層、100m層とも平年並み、水塊深度はやや浅め、津軽暖流の東方への張り出しはやや弱めだった。

6月は、平年と比べ津軽暖流の各層水温は0m層、50m層はかなり低め、100m層はやや低め、水塊深度はやや浅め、津軽暖流の東方への張り出しはやや強めだった。

9月は、平年と比べ津軽暖流の各層水温は0m層はかなり高め、50m層ではなはだ高め、100m層でかなり高め、水塊深度はやや深め、津軽暖流の東方への張り出しは平年並みだった。

12月は、平年と比べ津軽暖流の各層水温は0m層でかなり高め、50m層、100m層でやや高め、水塊深度はなはだ浅め、津軽暖流の東方への張り出しはやや弱めだった。

表 観測結果から算出した平年比（平年比%：平年偏差／標準偏差×100）

観測項目	3月	6月	9月	12月	階級	平年比の範囲	
各層最高水温(°C)	0m	9	-178	135	142	平年並み	±60%以内
	50m	-16	-186	217	111	やや	±130%以内
	100m	-18	-101	153	97	かなり	±200%以内
水塊深度(m)	-97	-61	70	-218	はなはだ	±200%以上	
張出位置(東経)	-98	101	-2	-67			